

# であいの里広報

令和5年4月15日(2023年) No.156  
 出合校区協議会(であいの里) 兵庫県養父市出合 249  
 Tel 079-667-8020 Fax079-667-8022  
<http://www.deaikyo.com/>(ホームページ)  
 facebook 出合校区協議会検索

見事です  
 ♪よく集  
 まりまし  
 たね♪あ  
 りがとう

三度目の来  
 館、毎年この  
 季節楽しみに  
 しています。時  
 代を超えて大  
 切に保管され  
 たことに感動し  
 ます。関宮の  
 象徴でありま  
 すように！

## 加工部会の活動

1~3月かきもち作り  
 まずまず上出来！  
 3月末頃までよく乾  
 燥させてから保存し  
 ます。主に焼きかき  
 もちにして年間を通  
 して販売します。



## 主な事業計画等

- 4月19日(水)19:30~  
健康福祉部会
- 4月24日(月)10:00~  
南但馬生研総会 和田山
- 4月25日(火)9:30  
県道改修促進期成同盟会  
監査・役員会 であいの里

## 主な活動経過等

- 2月20日(月)13:30  
市よりモトクンが来館
- 2月21日(火)  
養父市自治組織連絡協議会  
養父公民館 会長
- 2月22日(水)出合いカフェ10人
- 2月24日(金)市役所  
ひな等記者発表 正副会長
- 2月25・26日(土・日)  
YBファブ 2日間・4回  
レジェンド&バタフライ上映会

## 3月3日(金)~4月3日(月) であいの里 “であいの里ひなまつり” “がっせえアート展” “レジェンド&バタフライ写真展” 盛りだくさんな催しで 来場者 1200人

今年のひなまつり開催期間中は 新型コロナ禍もやや落ち着いた状況下であり、昨年の約2倍の1200余人の来場者がありました。これまでより会場を少し広げ、配置を変えたことで、見た目も変わり、より見やすくなったようでした。

体育館では、見る人 会う人、「ワァー 素晴らしい!!  
 こんなにたくさんのお人形、出して、しまうの大変ですね。」  
 と皆さん声をかけてくださいます。



同時開催のがっせえアートもみな素晴らしく力作揃い、  
 「これ家に飾りたい。売らないのかな」「有名な画家が描  
 いたような作品やなあ」などと見入っていました。

また、映画「レジェンド&バタフライ」の写真を目的に来られる方もあり、ロケの時の俳優さんの話や杉ヶ沢の様子などを交えて会話がはずみました。特に西村副会長のロケ当日の直に接したエピソードや撮影地などの説明にファンの方もとても満足されていた様子でした。

準備から片付けまで大勢の皆さまのご協力があればこそ催しです。

来場いただいたみなさん、出役・スタッフのみなさん ありがとうございます。

年々たくさん  
 になり見  
 ごたえが  
 あります。懐  
 かしく楽し  
 み、感謝！

今年是一段と  
 パワーアッ  
 プされてい  
 て壮観でし  
 た。毎年い  
 やされま  
 す。ありが  
 とうござ  
 います。



吊り飾り作りの要望があり講習をしました。



時代ごとの  
 いろいろな  
 表情のお  
 ひな様に感  
 動、歴史を  
 感じまし  
 た。



グラウンド・ゴルフにお越しください

春になり活動の  
 季節を迎え  
 ました。今年  
 は校庭の桜が  
 これまでも  
 増して見事  
 でした。桜満  
 開の4月4日  
 、グラウンド  
 ゴルフの練習  
 が始まりまし  
 ました。健康  
 づくり、仲間  
 づくり 楽しい  
 ひとときを一  
 緒に過ごしま  
 せんか。練習  
 日は火・金曜  
 日です。お越  
 しくお願いし  
 ます。

## 関宮学園トピックス

4月7日始業式 4月10日入学式・進級式

4月7日(金)新年度がスタートしました。翌週の10日に新1年生の入学式、新7年生の進級式を行いました。ぴかぴかの1年生。制服に身を包み少し大人になった7年生。素晴らしい1年となるよう精一杯頑張っていきます。よろしくお祈りします。



ご入学  
 おめでとうございます

入 学 式

毎年来ていますが今年  
 は例年以上のおひな  
 さんで特に感動しまし  
 た。準備お疲れ様で  
 した。

葛畑土人形、一  
 度見たいと思  
 っていました。思  
 っていた以上の  
 もので、これか  
 らも大切にし  
 ていただきたい。

とても素晴らしく  
 感動しました。2  
 人の男の子も楽し  
 めました。

一歩足を踏み入  
 れてびっくり！た  
 くさんの  
 人形に驚きまし  
 た。スタッフの皆  
 さま出し入れが  
 大変でしょう  
 が今後も楽し  
 ませてくださ  
 い。

古いおひな  
 様や数にび  
 っくり。私の  
 子どもの頃  
 のお家を見  
 れてびっ  
 くりでした。

人間きで想像し  
 つつ来ましたが  
 想定外の景観に  
 圧倒されました。  
 地元の皆さま  
 のご苦勞様、唯々  
 感謝あるのみ  
 です。

心打たれました。  
 胸にどーんと、ど  
 っしりと、一家  
 族の父母、祖父  
 母が想像を超  
 える苦勞の日々  
 の生活の中、子  
 どものために工  
 面して幸せを  
 願ったのでしょ  
 うね。

たくさんのおひ  
 なさまに出逢  
 えてとても幸  
 せでした。もっ  
 とたくさんの人  
 に来ていただ  
 きたい。  
**土ひいなならべ  
 人待つ  
 山峡の村**  
 であいの宝  
 物ですね。

子どもの頃見た  
 土ひなも見  
 られてうれし  
 かったです。続  
 けてくださ  
 い。

素晴らしい日本  
 の伝統を見  
 せて頂きました。  
 素敵でした。♡

すごい！初めて  
 来ました。な  
 つかしい昔  
 のおひなさま  
 が見られまし  
 た。

こんな素敵な  
 光景が見  
 られて感激  
 です。来年  
 も見たい  
 です。

このようにお  
 ひなさまは  
 見たことが  
 なかったで  
 す。歴史ある  
 おひなさま  
 までとても  
 よかったです。  
 楽しか  
 った。ありが  
 とう

やはり土人形  
 の素朴さが  
 好きです。人  
 々の思いが  
 込められて  
 いるよう  
 です。

ここのおひな  
 さまを見て  
 びっくり、ま  
 たきたい。

子どもの頃見た  
 土ひなも見  
 られてうれし  
 かったです。続  
 けてくださ  
 い。



私にも土人形が6  
 体ほどあり毎  
 年出してい  
 ます。とても  
 古い土人形  
 を見られまし  
 た。スタッフ  
 の皆さまに感  
 謝です。

本当に圧巻の  
 ひとこと。懐  
 かしい思い  
 でした。「こ  
 の体育館がな  
 くなるのでし  
 ょう」ご苦  
 勞様 ありが  
 とう

土人形が見た  
 くて来まし  
 た。あまりに  
 たくさんで  
 圧倒されまし  
 た。

子育ては男児  
 ばかり、ひな  
 人形は無縁  
 だったがと  
 ても美しく  
 感動した。あ  
 りがとうござ  
 いました。

すごい！の  
 ひとこと。来  
 て良かった。  
 ♡来年も  
 楽しみ！

このようにお  
 ひなさまは  
 見たことが  
 なかったで  
 す。歴史ある  
 おひなさま  
 までとても  
 よかったです。  
 楽しか  
 った。ありが  
 とう

裏面もご覧ください

## 残しておきたい懐かしい思い出 など (パート3)

### ◆出合区の子ども

平成10年(1998年)の出合区の秋まつり、幼児から中学校3年生まで練り込みの後の記念写真です。練り込みは天狗1名、踊り子4名 横笛を吹くもの5~6名、世話役の大人数名。子どもたちは大太鼓、小太鼓を引っぱって村中を回ります。昭和の頃は女の子たちは化粧をして着物を着て両手の中指に大きな花かざりをつけて踊り子の後方で一緒に踊ります。当時の写真の子どもたちは約40名、こんなに大勢いたんですね。現在(令和5年)では8名、25年前と比べると驚くほど少なくなってしまいました。



### 思い出いろいろ

#### ◆天神講・遊び 昭和30年代の頃

小・中学校の頃、たいてい12月24日が2学期の終業式、冬休みが始まる24日か25日は一大行事の楽しみにしている天神講がありました。2~3学年位が合同、男女別、その中で宿となる家を決め昼食と夕食を食べ、1日中楽しく遊びまわりました。中・高学年になると前日は調理材料(米、野菜、醤油、砂糖を、盃1杯、湯飲み茶わん1杯など)を各対象とする家に集めに回りました。当時はこのような材料も調味料もとても貴重だったのでしょ。

冬は村内の道路の坂道で竹スキー、長靴のスキー、キンマ(そり)で遊びました。車は全く通らないので坂道は格好の遊び場でした。また、男の子は人が歩く道に穴を掘って上に細い木を乗せ、その上に雪を覆いかぶせて落とし穴(ふんごみと)を作る位はしていました。今ではすぐに除雪される上、そんないたずらはできませんし、老人が引っかかって転んだりすると大騒動です。

夏は水遊び、川幅がちょっと広がった所で小学生が集まり川遊び、犬かきをせいぜい2~3mできればという位の場所でした。水着は大体下着(シミーズ)やワンピース、男子はパンツ、箱メガネを覗いて魚つきなどをしていました。その水遊び場には3~4人は座れそうな大きな岩がドカンとひとつ、ズ〜ッと居座っていました。そこは途中で休むのに心地よい岩でした。ですが、近年大きな岩がどんどん流されるような豪雨災害が多いのか(?)いつの間にか見えなくなってしまっていて残念です。今頃、無事でそのままの形であるのか、どこかにたどり着いているのか、見てみたいー!

自転車アイスキャンデー屋さんに来ていました。5円位でしたが毎日買ってもらえない贅沢なおやつでした。魚屋さんが持ってくるあんパン、うずまきパンは5円・10円位でした。村中には店が1軒ありました。たまに5円か10円もらえると飴玉や駄菓子を買に行きました。ひな壇のように段々に積んでいるガラス瓶の中から選び紙袋に入れてもらいました。飴玉は1個50銭(2個で1円)と1個1円の2種類ありました。醤油や酢などは量り売りで4合瓶をもって買に行きました。砂糖も計っていたような・・・

春は田んぼの淵でツバナ取り、ガムの代わりに噛んでいました。今でもツバナ取りをしてみたい! 田んぼの上の方の山でガビ取りもしました。自然が遊び場でした。



#### ◆夜 警

どこの村でも少年団活動で夜警をしていたと思います。カチ カチ カチカチと拍子木を4つ叩いて「火の用心」と大声を張り上げて村中を1周りました。近所の上級生と2人セットでしたが、暗がり人が一倍恐かったので当番の日はとても苦になりました。日誌には、道沿いで外に焚口がある家しか確認できませんが、風呂を焚いていた家の名前を書き記す欄がありました。いつまで続いたかわかりません。



### 思い出いろいろ

#### ◆学校給食・お弁当

出合小学校の給食は昭和36年2月から始まりました。各学校にそれぞれ給食室がありましたが、町内で最も早く始まったのが出合小学校でした。調理員は上田さんと岡田さんの2人でした。カレーチュー、揚げパンが美味しかった! ミルクは脱脂粉乳でした。

それまではお弁当を持参、冬の間は用務員室の風呂窯位の大きな湯沸し窯の上にお弁当を並べて温めたり、教室のストーブのまわりに置いて温めたりしました。

冬期間は、子どもの親が2人ずつ当番で学校に来て味噌汁を作ってくれていました。その頃のお汁はジャガイモや大根、白菜など、たまにクジラの(肉?)皮、コリコリする脂身も入っていました。はるえおばちゃんが炊いてくれたお茶は、大きなやかんで各クラスに配られ、当番が弁当箱のフタに入れてまわります。隅からこぼさないように飲んでいました。時々お弁当を忘れて、床にひっくり返して食べられなかったりすると先生が自分のお弁当を分けてあげていました。年に1~2回湯飲み茶わんを持参し、とても苦い苦いマクリ(カイチュウ下し)を飲まされました。

また、学校で、肝油がはやり、希望者に(有料の時もあり)1日に1個か2個ずつ先生が配っていました。

#### ◆雪道の通学

車の無い頃、年末に雪が降ると春の雪解けまで通学路は一本道でした。通学は区を中心に集まって皆で並んで歩きました。朝一番の雪の道は大人が雪を漕いで道を作ってくれていたと思います。また、それ以上に大雪の時は村中の親たちが出て雪踏みをしていたそうです。途中、遠くにすれ違う人を見ると早めに雪を踏んで退避場所を作って待ちました。また、新雪の上にバタンと寝転んで人型を作ってみたり、朝の通学では段々田んぼのかたく固まった雪の上を歩き、飛び降り、時にはボソッと深く沈んだり 楽しい通学の時間でした。

#### ◆大日つあん[大日寺]

3月28日は中瀬の大日祭がとても盛大に行われていて春休み中の待ちに待った1日でした。牛を祀っていて近隣の町村や遠方からも来ていたのでしょう。中瀬の村中の道路や大日寺に続く上り坂の両側にはおもちゃ屋さんや食べもの屋さん、見せもの等が隙間なく並び、迷子になりそうなほど多くの人が行きかかっていました。

中瀬まではバス、又は自転車に乗せてもらったり、時には歩いたりしました。その頃になると穏やかな天気になることが多く、女の子はその日を境にスカートがはけてちょっぴり気恥ずかしくもありつつ うきうき気分になりました! 記憶はないですが、ある年、途中から雪が降ってきて寒くて大変だったと後々よく聞かされました。



#### ◆国道9号線のない頃

全但バスで八鹿まで出かけるのにとても時間がかかっていました。当然、村中を走る旧道しかありません。特に関宮、万久里などで車がすれ違う場合は何度も同じ場所を行ったり戻ったりを繰り返して時間通りに到着できないことが多々ありました。通勤、通学の時間は車掌さん(男)が両手を広げて入口付近の棒をつかみ自分の体がはみ出すほど大勢詰め込み超満員で走っていました。

ワンマンカーになるまでは、ガタガタ道を揺られながら紺の制服姿の車掌さんが座席まで来て「〇〇まで」と言うと、冊子になった切符2枚に〇〇から〇〇までとハサミをパチンパチンと入れて一枚をもらいお金を払います。「次は〇〇です。お降りの方はいませんか。」「車内パス」・・・子どもの頃、女の子は皆 車掌さんごっこをして遊びました。昭和30年代後半、出合から関宮まで片道25円でした。中学校統合(昭和39年)前は町内4校舎(大谷、関宮、出合、熊次)に分かれていて、年に数回(体育祭、音楽会、弁論大会など)関宮中学校に集まることがありました。学校前のバス停で、また旧国道(村岡線)のバス停でも乗り降りしていました。村岡線に乗る場合、バスが見えてからみんなで「待ってー」と叫んでバス停に走ったことが何度もありました。

#### ◆豆腐づくり

母は豆腐を作って販売していました。毎日、朝早く起きて、前日から水につけていた大豆を石うすでひいて大きな窯で炊き、木綿袋に入れ、取り付けしている専用の丸太を使ってしぼります。下に受けている樽に豆乳がたまり、袋にはオカラが残ります。豆乳ににがり混ぜ合わせて固まりかけたら、豆腐が10丁入る木箱に薄い布を敷き、その中に豆乳を移します。全体を布で覆い木のフタと重石を乗せてしばらく置くと豆腐が出来上がります。豆乳ににがりを入れるときは慎重に手際よく混ぜるのが美味しさが決まるコツのひとつであったようです。大きな水槽に移して、箱からやさしく豆腐を取り出し、布をはがし、専用の大包丁で切り分けます。

いつまで作っていたか定かではありませんが、最後の方、1丁の値段は25円、また、大豆を持ってくる方もいて、加工賃10円をもらっていたと記憶しています。村内の人や隣村からもバケツを持って買いに来ていたが

1日せいぜい10丁、売り切れない日の方が多かったかな、祭などの行事があれば予約を受けていました。たまに飲ませてもらえる本物の豆乳はとても美味しく忘れられない味ですが、それ用に豆を増やしておかないと豆腐が小さくなるので滅多に飲ませてもらえません。

